

(別紙1)

2020年度～2023年度 社会福祉法人からし種の会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 からし種の会		法人番号	4110005001689				
法人代表者氏名	山崎ハコネ							
法人の主たる所在地	新潟県新潟市西区西有明町2番5号							
連絡先	電話 025-201-7688							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	2020年8月6日(木)							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	2020年8月7日(金)							
評議員会の承認年月日	2020年8月8日(土)							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (2019年度末現在)	1か年度目 (2020年度末現在)	2か年度目 (2021年度末現在)	3か年度目 (2022年度末現在)	4か年度目 (2023年度末現在)	5か年度目 (2024年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	14,660千円	5,860千円	2,060千円	900千円	0千円	0千円		0千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲8,800千円	▲3,800千円	▲1,160千円	▲900千円	▲0千円	▲14,660千円	
本計画の対象期間	2020年9月1日～2024年3月31日 社会福祉充実残額は14,660千円であるが、14,860千円で計画をしている。							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	職員確保・育成事業	社会福祉事業	新規	当法人の職員の資質向上のため、全国団体が実施する研修の受講費を補助する。また、介護職員確保のため、オンライン説明会・採用等の実現に向けた広報等ウェブ環境整備、新たな人材の雇入れをし働きやすい職場の人材環境整備を行う。	無	3,200千円
	浴室・トイレ改修工事業	社会福祉事業	新規	浴室・トイレの床については、2003年開設から17年目となり老朽化してきている。利用者の快適な空間の確保のため、タイル交換、トイレの床の張替え等の改修が必要とされる。そのため、改修工事を実施する。	有	4,000千円
	たまり場・みんなの食堂・空間整備設計事業	地域公益事業	新規	社協等と連携を図りながら、地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備実施設計を行うこととした。対象は地域住民全人型で、居場所的空間整	有	1,000千円

				備から共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談機能を強化していくこととした。			
	共生お掃除事業	地域公益事業	新規	就労と交流の場を提供し、認知症高齢者と就労支援の障害者とがともにお掃除・交流の場を通して共生空の形成を図る。	無	500 千円	
	要支援者等の福祉避難所の在り方・整備事業	地域公益事業	新規	昨年より西区、自治会、社協、地域包括支援センター、福祉の会、民生委員、敬和学園大学、法人の7団体であり方検討会年3回実施し発表を行った。福祉避難所における新型コロナウイルス感染防止対応の検討を引き続き実施、整備していきたい。	無	300 千円	
	小計						9,000 千円
2 か年度目	職員確保・育成事業	社会福祉事業	—	当法人の職員の資質向上のため、全国団体が実施する研修の受講費を補助する。法人全体研修の講師を招き法人全体の質の向上を図るとともに地域に開かれた学びの場を提供する。	無	1,000 千円	
	たまり場・みんなの食堂・空間整備事業	地域公益事業	—	社協等と連携を図りながら、地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備実施改修工事を行うこととした。対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談機能を強化していくこととした。	有	2,000 千円	
	共生お掃除事業	地域公益事業	—	就労と交流の場を提供し、認知症高齢者と就労支援の障害者とがともにお掃除・交流の場を通して共生空の形成を図る。	無	500 千円	
	要支援者等の福祉避難所におけるコロナ対応整備事業	地域公益事業	新規	昨年より西区、自治会、社協、地域包括支援センター、福祉の会、民生委員、敬和学園大学、法人の7団体であり方検討会年3回実施し発表を行った。福祉避難所における新型コロナウイルス感染防止対応の検討を引き続き実施、整備していきたい。	無	300 千円	
	小計						3,800 千円
3 か年度目	職員確保・育成事業	社会福祉事業	—	当法人の職員の資質向上のため、全国団体が実施する研修の受講費を補助する。法人全体研修の講師を招き法人全体の質の向上を図るとともに地域に開かれた学びの場を提供する。	無	760 千円	
	たまり場・みんなの食堂・空間整備事業	地域公益事業	—	社協等と連携を図りながら、地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備実施改修工事を行うこととした。対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談機能を強化していくこととした。	有	400 千円	
	小計						1,160 千円
4 か年度目	職員確保・育成事業		—	当法人の職員の資質向上のため、全国団体が実施する研修の受講費を補助する。法人全体研修の講師を招き法人全体の質の向上を図るとともに地域に開かれた学びの場を提供する。	無	500 千円	
	たまり場・みんなの食堂・空間整備事業			社協等と連携を図りながら、地域の	有	400 千円	

	なの食堂・空間整備事業			たまり場・みんなの食堂の空間整備実施改修工事を行うこととした。対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談機能を強化していくこととした。	
				小計	900 千円
				合計	14,860 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	2020 年度の社会福祉事業として職員確保・育成事業、浴室・トイレ改修事業、2021 年度も同様に社会福祉事業として職員確保整備事業、2022 年度～2023 年度においても社会福祉事業職員確保・育成事業を行う。
② 地域公益事業	2020 年度から 4 年間において、たまり場・みんなの食堂空間整備事業を行う。2020 年度から 2 年間において、要支援者等の福祉避難所におけるコロナ対応整備事業、共生お掃除事業を整備していく。
③ ①及び②以外の公益事業	① ②の取り組みを実施する結果、残額は生じないため、実施しない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	合計	
職員確保・育成事業	計画の実施期間における事業費合計	3,200 千円	1,000 千円	760 千円	500 千円		5,460 千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	3,000 千円	1,000 千円	760 千円	500 千円		5,260 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益	200 千円					200 千円
	その他							

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

事業名	事業費内訳	1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	合計	
浴室改修工事	計画の実施期間における事業費合計	4,000 千円					4,000 千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	4,000 千円					4,000 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
	その他							

事業名	事業費内訳	1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	合計	
たまり場・みんなの食堂空間整備事業	計画の実施期間における事業費合計	1,000 千円	2,000 千円	400 千円	400 千円		3,800 千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	1,000 千円	2,000 千円	400 千円	400 千円		3,800 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
	その他							

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
共生お掃除事業	計画の実施期間における事業費合計	500千円	500千円				1,000千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	500千円	500千円				1,000千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
要支援等避難所あり方整備事業	計画の実施期間における事業費合計	300千円	300千円				600千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	300千円	300千円				600千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

5. 事業の詳細

事業名	職員確保・育成事業	
主な対象者	当法人に在籍2年以上の職員	
想定される対象者数	40人	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2020年9月1日～2024年3月31日	
事業内容	<p>当法人の職員の資質向上のため、全国団体が実施する研修の受講費を補助する。また、介護職員確保のため、オンライン説明会・採用等の実現に向けた広報等のウェブ環境整備、そのための人材の確保等体制づくりを行う。</p> <p>子育て等で遠出できない職員らもいるので、外部講師を県外から招き、法人全体研修ならびに、地域住民にも開かれた形で公開研修会を開催する。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	職員5人を対象に費用助成を実施
	2か年度目	職員5人を対象に費用助成を実施
	3か年度目	職員5人を対象に費用助成を実施
	4か年度目	職員5人を対象に費用助成を実施
	5か年度目	

事業費積算 (概算)	300千円(職員5人)×4か年=1,200千円 ホーム頁追加作成 職員募集・応募等の作成 500千円 管理業務委託費 120千円×4か年=480千円 講師費用 1,000千円 人事担当事務職員 2,200千円 その他諸経費 80千円	
	合計	5,460千円(うち社会福祉充実残額充当額 5,260千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	浴室・トイレ改修整備事業	
主な対象者	高齢者	
想定される対象者数	12人(1回数=利用者・職員)	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	2020年9月1日～2021年3月31日	
事業内容	浴室・トイレの床については、2003年開設から17年目となり老朽化してきている。利用者の快適な空間の確保のため、タイル交換、トイレの床の張替え等の改修工事を単年度で実施する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	改修工事内容等の見積もり、利用者の入浴確保等を検討 トイレの床の張替え、浴室タイル交換等の改修工事実施
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	トイレの床、浴室改修工事費 4,000千円	
	合計	4,000千円(うち社会福祉充実残額充当額 4,000千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

こと。

事業名	たまり場・みんなの食堂空間整備事業	
主な対象者	高齢者・子供・障害者	
想定される対象者数	1回 40～50人	
事業の実施地域	新潟市	
事業の実施時期	2020年9月1日～2024年3月31日	
事業内容	2020年はたまり場・みんなの食堂空間事業実施設計を行い、これまでガスの元栓が棚の中にあるなどより安全にと使い勝手の良い調理場等の改修工事を2021年度に実施する。また、子育て、高齢者、生活困窮などさまざまな課題を抱えている人たちの相談窓口を開設、そのための電話開設、相談員を新たに雇い入れができるよう人件費等を確保し、相談機能を強化していく。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備実施設計を行うこととした。対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談窓口を開設していくために電話開設相談員を募集していく。
	2か年度目	2021年度に地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備実施改修工事を行う。対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談窓口を開設していくために電話開設相談員を募集していく。
	3か年度目	地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備の対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談窓口を開設していくために電話開設相談員を募集していく。
	4か年度目	地域のたまり場・みんなの食堂の空間整備の対象は地域住民全人型で、居場所的空間整備からと共に日常生活上の見守り、食支援にプラスして相談窓口を開設していくために電話開設相談員を募集していく。
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	人件費 1,000 千円 電話開設 300 千円 改修工事、備品 2,500 千円	
	合計	3,800 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 3,800 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	<ol style="list-style-type: none"> 「自分が子育てしている時にこういう場所が欲しかった。孫と一緒にいきたい」 整備事業の場所は、たまり場・みんなの食堂、避難所の場所は同一の場所であるのか 身近などで相談の場が必要である。相談機能のある場所が増えることはよい。 相談機能について、相談内容が多義にわたるが人材の対応は大丈夫か 行政とも連携しすすめていただきたい。 <p>評議員会からも専門性が求められるため、研修体制や人材の二人体制を検討していく。</p>	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	共生お掃除事業
主な対象者	高齢者、障害者
想定される対象者数	4人～10人
事業の実施地域	新潟市西区
事業の実施時期	2020年9月1日～2022年3月31日

事業内容	就労支援の利用者の仕事場の提供 認知症高齢者と室内、地域共有スペースの床清掃、地域の庭環境整備を地域・認知症高齢者、障害者との交流・協働の場を形成していく。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	就労の場・交流に対する支援の実施
	2か年度目	就労の場・交流に対する支援の実施 地域支援事業へのつなぎ
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	人件費（単年度 400 千円）×2年間＝800 千円 旅費、掃除用具、備品 200 千円	
	合計	1,000 千円（うち社会福祉充実残額充当額 1,000 千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	<p>1 障害者との共生事業にとっても期待したい。</p> <p>2 年間事業となっているが、できればその後も続けてほしい</p> <p>3 これからの地域共生社会への取り組みが先駆的にされている。障害者との垣根を広げて行ってほしい。</p> <p>本計画では2年間事業になっているがささえあいコミュニティー生活協同組合との連携事業でもあるのでともに育て、発展・継続を願っていききたい。</p>	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	要支援者等の福祉避難所におけるコロナ対応整備事業
主な対象者	地域住民(高齢者・子ども・障害者)
想定される対象者数	要支援者5人、居場所的利用10人
事業の実施地域	新潟市西区
事業の実施時期	2020年9月1日～2022年3月31日
事業内容	昨年より西区、自治会、社協、地域包括支援センター、福祉の会、民生委員、敬和学園大学、法人の7団体であり方検討会年3回実施し発表を行った。福祉避難所における新型コロナ感染防止対応の検討を引き続き実施、整備していきたい。

事業の実施スケジュール	1か年度目	新型コロナの関係上、2020年度に開催できるか未定である。 可能であれば、開催し検討した段ボールベッド等備品購入を行う。
	2か年度目	新型コロナの関係上、2021年度に開催できるか未定である。 可能であれば、年3回程度開催し備品倉庫整備等を行う。
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	備品 300 千円 備品倉庫設置 300 千円	
	合計	600 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 600 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	<p>1 段ボールベッドについて、骨折リスクもあるので要支援者等には不向きの場合もある。ベッドでの支援も必要かということも見極めて実施してほしい。</p> <p>2 避難所や相談機能について市の方でも避難所や相談機関として把握しておけるように市の防災、相談機関等より一層の連携を期待している。</p> <p>3 避難所として使うことは自治会から話があったのか。</p> <p>上記意見を受けて、行政との連携をはかりながら、事業整備を進めていきたい</p>	

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由